

## 嶺北地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

# 嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H27. 2. 4  
嶺北地域本部

## 1 地域アクションプランの平成26年度（第3四半期）の進捗状況等（総括）

### (1) 総評

嶺北地域では、核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状に大きな変化は無く、各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が喫緊の課題である。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取組にも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として嶺北高校と連携して将来の担い手の育成にも取り組み、大学進学した卒業生も大学内での活動を通じて、嶺北地域の活性化に繋がっているなど一定の成果も見えてきている。

本年度の嶺北地域の28項目のアクションプランについても、概ね各計画に沿った取組を進めており、各アクションプランとの連携を視野に入れた取組も見られている。

県外の大学等との連携による取組では、交流人口の拡大から地域産品を活用した新たな商品開発・販売に具体的に取り組んでおり、所期の目的に向かって進みつつある。また、大阪圏都市部（行政、民間団体）との連携によるインターンシップ研修生の受け入れが定例化し、研修終了後の移住にも繋がり始めるとともに、この事業で連携してきた企業がシェアオフィスに入居するなど、外部人材を活用した取組も本格化し、人的・物的交流のさらなる広がりも期待を抱かせるものとなっている。

### (2) 具体的な動き

#### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>“れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐れいほく（園芸部会、花卉部会）</li> <li>・直販生産部会土佐町支部</li> </ul>	<p>【目標（H27）】</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：136人 研修による新規就農者数：8人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.1億円 直販売上額：9.5千万円</p> <p>【H26到達点】</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：155人 研修による新規就農者数：12人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.1億円 直販売上額：8.5千万円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H25 到達点]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6 億円→実績 2.1 億円  れいほく八菜 生産者数：170 人→実績 169 人  研修による新規就農者数：8 人(累計)→実績 11 人(累計)  れいほく八花 販売額：1.2 億円→実績 1.1 億円  直販売上額：8.5 千万円→実績 7.8 千万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営実態調査  (三色ピーマン、シシトウ部会、モデル農家 2 戸)</li> <li>・新規就農者等勉強会 (3 回) (26 名)</li> <li>・担い手合同研修会 (1 回)</li> </ul> <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 各生産部会の現地検討会 (23 回)</li> <li>・天敵の推進：研究会 (1 回)、天敵リレー (4 回)、  天敵利用促進ハウス設置 (2 カ所)</li> <li>・栽培管理指導 (土壌溶液分析) (14 回)</li> <li>・ISO 環境点検 (2 回)</li> <li>・販売促進企画会議 (4 回)、圃場見学 (2 回)・出前授業  (3 回)・試食PR (6 回)</li> </ul> <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培管理巡回指導 (30 回)</li> <li>・土壌分析による施肥指導 (12 回)</li> <li>・ノーブルを中心とした販売促進活動の検討 (7 回)</li> </ul> <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培講習会 (7 回)</li> <li>・現地検討会 (1 回)</li> <li>・直販所視察研修 (2 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な担い手確保  ⇒関係機関、農業者が一体となった取組の推進</li> </ul> <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹品目(米ナス、シシトウ、三色ピーマン)の栽培管理技術の徹底  ⇒生産技術の向上、病害虫対策の向上</li> <li>・販売促進活動などによる販売拡充  ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝  県内市場及び大阪市場の販売強化</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 ヌズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会</li> <li>・JA土佐れいほく</li> </ul>	<p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり</li> <li>・市場への販売促進活動 ⇒県内外の市場商談会等への参加</li> </ul> <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培管理指導による出荷量の増加及び品質向上</li> </ul> <p>[目標 (H27)]</p> <p>加工品販売額：6億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>加工品販売額：4.5億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売額：4.5億円→実績4.0億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術講習会(2回)</li> <li>・商談会への参加(5回)</li> <li>・個別巡回指導(7回)</li> <li>・生態(着花状況等)調査(12回)</li> <li>・輸出出荷</li> <li>・国外での販促活動</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ加工品の販路拡大 ⇒国外への販促活動の強化</li> </ul>
<p>JA出資型法人を核とする地域活性化の取組</p> <p>■No.6 JA出資型法人を核とする地域活性化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐れいほく</li> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・米米ハート</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高：3,000万円</p> <p>研修による新規就農者数：3人(累計)</p> <p>事業主体への新規雇用数：2人(累計)</p> <p>米粉等の販売額：1.1億円</p> <p>内訳 4,000万円(米粉等) 7,000万円(ブランド米等)</p> <p>米粉の使用量(米粉パン等)：7,000kg</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高：2,450万円</p> <p>研修による新規就農者数：1人(累計)</p> <p>事業主体への新規雇用数：7人(累計)</p> <p>米粉等の販売額：1.05億円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>内訳 2,500万円(米粉等) 8,000万円(ブランド米等) 米粉の使用量(米粉パン等):7,000kg</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高:1,207万円→実績1,612万円 研修による新規就農者数:0人(累計)→実績0人(累計) 事業主体への新規雇用数:1人(累計)→実績5人(累計) 米粉等の販売額:1.55億円→実績1.10億円</p> <p>内訳 2,500万円(米粉等)→実績2,234万円 5,000万円(米粉パン等) 8,000万円(ブランド米等)→実績8,732万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作付実績:園芸作物133a、水田(主食・飼料用)250a</li> <li>・農作業受託:水稻1,000a、ハウス40a</li> <li>・栽培研修会への参加(7回)</li> <li>・ほ場巡回による栽培管理の助言指導(27回)</li> <li>・<del>インキュベーション事業の実施(4回)</del></li> </ul> <p>(米粉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち農商工連携基金事業の採択(事業費:4,376千円) れいほく未来、とさ千里の連携による新商品、米粉加工品の販路拡大の取組</li> <li>・商品開発、販路開拓に関する委託契約の締結 (大阪圏2者)</li> <li>・既存取引先(大阪)との販売促進協議(2回) <del>取引先との交流イベント(1回)</del></li> <li>・イベント出店による販売、PR活動(39回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業体(JA出資型法人)の経営の安定化 ⇒地元金融機関の協力のもと、中期経営事業計画(5ヶ年)の策定・実行支援</li> <li>・米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 (県外料理研究家等の協力のもと、販売促進活動等への実践支援)</li> </ul>
<p>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</p> <p>■No.8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊町)</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐あかうしの販売額:2.1億円</p> <p>[H26 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A土佐れいほく</li> <li>・ (株)れいほく未来</li> <li>・ 飼養者</li> <li>・ 本山町</li> <li>・ 大豊町</li> <li>・ 土佐町</li> </ul>	<p>土佐あかうしの販売額：2億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2億円→実績1.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥育畜舎、育成畜舎完成</li> <li>・ 繁殖雌牛25頭導入（累計54頭）</li> <li>・ 分娩12頭（累計16頭）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期の畜舎整備 ⇒関係者による事業内容の協議（計画的な施設整備）</li> <li>・ 飼育担当者の飼養管理技術の向上 ⇒飼養管理技術の向上支援（現地指導等）</li> <li>・ 加工場の整備検討 ⇒付加価値の構築</li> </ul>
<p>■No.9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)むらびと本舗</li> <li>・ 大川村</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>黒牛の販売額：8.2千万円</p> <p>はちきん地鶏出荷羽数：10万羽</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>黒牛の販売額：4.3千万円</p> <p>はちきん地鶏出荷羽数：7万羽</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>黒牛の販売額：7.0千万円→実績3.3千万円</p> <p>はちきん地鶏出荷羽数：7万羽→実績5.9万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶏舎の改築（換気・結露対策）</li> <li>・ 飼養管理技術向上の取り組み</li> <li>・ 増頭、増羽に向けた検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の飼養管理技術の向上 ⇒職員の飼養管理技術の向上支援（現場指導等）</li> <li>・ 繁殖雌牛の増頭及び高齢牛の更新と肥育牛の増頭 ⇒計画的な繁殖雌牛の保留と肥育畜舎の整備</li> </ul>
<p>嶺北材の増産及び販路拡大</p> <p>■No.10 間伐の推進と素材生産の拡大（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林所有者</li> <li>・ 森林組合</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>素材生産量：150,000 m<sup>3</sup></p> <p>[H26 到達点]</p> <p>素材生産量：100,000 m<sup>3</sup></p> <p>[H25 到達点]</p> <p>素材生産量：100,000 m<sup>3</sup>→実績78,943 m<sup>3</sup>（本山、大豊の共販所）</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素材生産事業体</li> <li>・ 自伐林家</li> </ul> <p>■No. 11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株) SUN SHOW</li> <li>・ レイホク木材工業(協)</li> <li>・ 吉野川リビング(協)</li> <li>・ 土佐町</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森の工場新規認定申請(4箇所)</li> <li>・ 森の工場新規設定に向けた協議(1箇所)</li> <li>・ 素材生産事業体との増産に向けた協議(10事業体)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木増産体制の整備 ⇒ 搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 皆伐、再造林への支援</li> </ul> <p>[目標(H27)]</p> <p>木材の出荷量: 900 m<sup>3</sup></p> <p>[H26到達点]</p> <p>木材の出荷量: 720 m<sup>3</sup></p> <p>[H25到達点]</p> <p>木材の出荷量: 540 m<sup>3</sup> → 実績 908 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 納材実績: 30棟 553.81 m</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した受注に向け新たな取引先の開拓 ⇒ 関係者と連携し検討実施</li> </ul>
<p>大型製材工場の設置・稼働による加工体制の強化</p> <p>■No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知おおとよ製材(株)</li> <li>・ 大豊町</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>製材品の生産量: 55,000 m<sup>3</sup></p> <p>[H26到達点]</p> <p>製材品の生産量: 28,781 m<sup>3</sup></p> <p>[H25到達点]</p> <p>製材品の生産量: 12,772 m<sup>3</sup> → 実績 13,100 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「高知おおとよ製材」採用者の就業(7名:合計42名)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木供給体制の整備 ⇒ 関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討</li> </ul>
<p>地産外商の促進</p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 1.2億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 0.85億円</p> <p>[H25到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)とさ千里</li> <li>・J A土佐れいほく</li> <li>・土佐町</li> </ul>	<p>土佐産直ラボセンター(とさ千里)の販売額:0.85億円 →実績0.86億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大阪事務所での木曜日(10回)</li> <li>・イベント会場での物販(3回)</li> <li>・商談会への参加(1回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来店者増(売上増)に向けた取り組み ⇒地域住民をリピーターとして確保するための品揃え(生鮮野菜、日配品、パン) 催事開催による新規誘客 県による支援(てんこす等の情報提供、県人会等へのPR)</li> <li>・店舗外販売への取組 ⇒利用者の拡大による売上増</li> </ul>
<p><b>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</b></p> <p>■No.19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数:12,000人 新たに旅行商品となる体験メニュー数:5件(累計)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数:一人 新たに旅行商品となる体験メニュー数:4件(累計)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数:一人 新たに旅行商品となる体験メニュー数:3件(累計) →実績3件(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域の旅行商品化の動き 商品化:1社・12本 催行:1社・10本 365名</li> <li>・民泊研修の実施(2回)</li> <li>・エージェントへのプロモーション活動(3回)</li> <li>・大学と連携した旅行商品磨き上げ モニターツアー実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光のコーディネート組織(人)の機能強化</li> <li>・次年度以降の協議会の事務局体制の検討 ⇒嶺北地域観光・交流推進協議会で検討</li> </ul>



②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 米のブランド化による稲作農業の展開 (本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本山町ブランド化推進協議会</li> <li>・(財)本山町農業公社</li> <li>・本山町酒づくり協議会</li> <li>・ばうむ合同会社</li> <li>・本山町</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ブランド米の販売額：1億円 焼酎販売本数：17,800本</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ブランド米の販売額：5,000万円 焼酎販売本数：15,800本</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ブランド米の販売額：5,000万円→実績 4,336万円 焼酎販売本数：12,600本→実績 1,419本</p> <p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培管理指導 (18回)</li> <li>・田んぼアートの実施</li> <li>・「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」受賞</li> <li>・販売促進活動 (17回延べ35日)</li> <li>・米食味分析鑑定コンクール(水田環境特A部門特別優 秀賞)受賞</li> </ul> <p>(焼酎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まるごとうちでの試飲、販売</li> <li>・イベント・展示会等への出展 (11回延べ54日)</li> <li>・新規取引開始：13件</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者価格の向上 ⇒直接販売増の取組の実施</li> </ul> <p>(焼酎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品(焼酎等)の安定的な生産と販路拡大 ⇒卸業者等へのPR活動の実施 大阪圏飲食店への販促実施</li> </ul>
<p>■No.5 (株)大豊ゆとりファームを核として 地域資源の活用により地域産業を持続化さ せる取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)大豊ゆとりファーム</li> <li>・大豊町碁石茶協同組合</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.5億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.2億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.2億円→実績 0.13億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碁石茶の販促活動 (25回延べ50日)</li> <li>・クールベジタブルの販促活動 (19回延べ25日)</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本山さくら市運営委員会</li> <li>・(財)本山町農業公社</li> <li>・本山町</li> </ul>	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碁石茶の茶葉、加工品の販路拡大 ⇒商談会への出展等による新たな取引先の開拓</li> </ul> <p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：1.8億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>販売額：1.36億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>販売額：1.42億円→実績1.33億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理加工施設の整備に向けた検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品、情報発信機能の充実 ⇒栽培講習会、PR活動等の継続実施</li> </ul>
<p>■No.24滞在型市民農園の推進による地域の活性化(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本山町</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>町内移住者：30人(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>町内移住者：30人(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>町内移住者：15人(累計)→実績24人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者(4組9人)</li> <li>・町内移住者(2組2人)</li> <li>・県外相談会等への参加(13回、相談者164名)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在後の移住への移行 ⇒施設利用者と地域の交流機会の拡大</li> </ul>
<p>■No.25嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく田舎暮らしネットワーク</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>移住者数：100人(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>移住者数：一人(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>移住者数：50人(累計)→実績142人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進連絡会の開催(9回)</li> <li>・県外での移住相談会への参加(7回)</li> <li>・移住相談受付件数：337件</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) れいほく未来</li> <li>・嶺北高校</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住実績：42件 53名</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局体制の整備(役割分担) <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議</li> </ul> </li> <li>・空き家不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒空き家調査の実施等</li> </ul> </li> </ul> <p>[目標(H27)]</p> <p>商品提案数：5件(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>商品提案数：13件(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>商品提案数：3件(累計) →実績11件(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>こうち農商工連携基金事業を活用し、(株)れいほく未来・(株)とさ千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中</li> </ul> </li> <li>・連携事業者による指導(3回)</li> <li>・試食アンケート(1回)</li> <li>・試作品の完成(2品目)</li> <li>・(株)れいほく未来への提案(2品目)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が主体的に動き出すキッカケづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり</li> </ul> </li> <li>・卒業生との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒在籍大学との連携</li> </ul> </li> </ul>

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(土佐町)</p>	<p>土佐あかうしの生産基地整備による生産体制の強化に向けた取組(繁殖畜舎、堆肥舎等の整備)</p>	<p>81,000(12,500)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町部落長会での第2期計画 Ver3 の説明(4/18)
- ・大豊町区長会での第2期計画 Ver3 の説明(5/1)

- ・ 本山町商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/22)
- ・ 土佐地区商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/23)
- ・ 大豊町商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/26)

#### 4 相談案件：3件

NO	相談日	事業種別	相談内容
1	H26.10.2	観光交流	地場産品を活用したイベントについて
2	H26.10.7	水産物加工	淡水魚を活用した6次産業化
3	H26.10.29	商業	事業計画作成について（銀行との連携）